

S S K W

あおぞら

第 30 号

平成27年 7月

社会福祉法人 あおぞら共生会

川崎市川崎区京町 1-16-25

TEL・FAX 044-328-7363

編集責任者 明石邦彦

E-mail sfn-aozora.126@minos.ocn.ne.jp

<http://www.aozora-kyouseikai.com/>

<初歩的なこと、常識的なことをないがしろにしない>

あおぞら共生会 理事長 明石邦彦

平成27年度が始まりました。さて、平成26年度の法人運営は順調であったと3月の理事会では報告しました。しかしながら、5月理事会（H26事業結果報告）を迎えて内在していた問題が一気に噴き出した感があります。冒頭のタイトルにあるようになぜ、なぜなの？というトラブルが発生しました。初心に帰り、反省すべき所がある事業結果となりました。



さて、平成26年度は3つの目標に沿って事業は順調に展開いたしました。目標に掲げていた①「個別支援計画、資格取得、発達障害支援スキルの向上」は各部署でのモニタリングなどの個別支援計画はPDSCサイクルが定例化され、順調でした。また、介護福祉士の資格取得も3名がチャレンジし、全員が合格となりました。更に、3年間続けていた講演会も好評裏に終了することができました。昨年の12月に実施した2人の弁護士（浦崎先生、池田先生）の方には法人内で起こり得るトラブルに対してどのような解決法が望ましいかを提示していただき、議論を深めました。また、3月に開催した大門先生による成年後見制度も利用のメリット・デメリットの観点からお話をいただきました。いずれも身近な問題を取り上げた有益な講演会となりました。



②「世代交代に向けた準備」としましては中核職員を中心とした「トンボ会議」が順調に動き出し、組織としての課題を取り上げ、3役との話し合いの上に色々な対案が実施されました。このような活動が組織の更なる充実につながればよいと考えています。

また、③「行政監査における指摘事項の改善」については見直しを行い、その結果を行政に報告いたしました。3つの事業方針についてはそれぞれ満足のいく結果となったと思っています。

